

Fitness Industry Association

NEWS



Fitness
Industry
Association
of Japan

発行: (一社) 日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail. info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

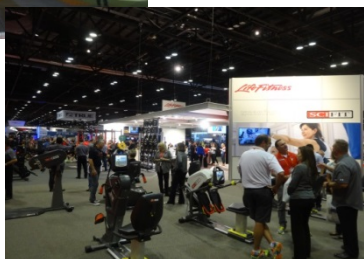
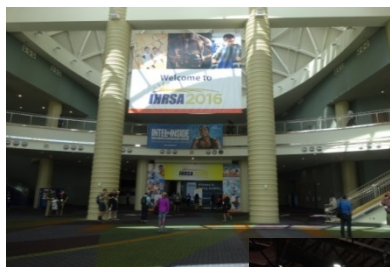
熊本県を震源とする地震で被災された方とご家族、被害にあわれたクラブと関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

Topics

トピックス

IHRSA 2016 及び米国フィットネス施設視察レポート !

〔記: FIA事務局長 松村 剛〕



去る3月下旬、米国フロリダ州オーランドにおいて、IHRSA (International Health Raquet & Sports club Association) 主催による、北米最大規模のフィットネスビジネスに特化したコンベンションが開催されました。

当協会からは、IHRSAコンベンションに併せて開催される、各国のFIA同様の業界団体の情報交換ミーティングである『Global Federation Meeting』への参加も兼ねて、このコンベンションに参加いたしました。

ついては、今回の視察を通して収集した米国発のフィットネスに関する最新のトレンドをここにレポートとして皆様に共有させていただきます。

【IHRSA 2016 開催結果】

○開催会場: フロリダ州オーランド オレンジカウンティー
コンベンションセンター

○開催期日: 2016年3月21日(月)～24日(木)

○開催キーワード: Passion, Knowledge, Expertise

今年の出展状況を冒頭から総括するにあたって、キーワードを2つに絞らせていただくと“結果を引き出す高強度なトレーニング(エクササイズ)のますますの定着”と“ICTとフィットネスサービス提供の親和性の進化”といった感じでしょうか。

いくつかの新しい発見と予感があったことは、後でご紹介するとして、全体を通しては“昨年度と比較して、目を見張るよう

なイノベティブなソフトやハードを発見できなかった。”というところが率直な感想です。

一方で、この視点を反対側から感じてみると、それは、それぞれのトレンドが、いよいよ市場に定着した、つまり、ユーザーの支持を受けているということでもあります。

過去数年のIHRSAを振り返ると、TRXという久しぶりの大ヒットエクササイズツールが登場し、あっという間に米国発で世界のフィットネス市場を席巻しました。

その時期と同時というより、先行して、アメリカ海兵隊のトレーニングメソッドを転用した、CROSS FIT型トレーニングジムの派生からの一連の流れであると考えます。

欧米では、ダイエットを確実に成功させた人々は、よりアスレチックでバランスのとれた理想的な身体とライフスタイルの理想を求める人々が増えているといえます。そのようなユーザーの理想を実現するには、ある程度の高強度の負荷をエクササイズに課すことを理解し、そこまでをエスコートする専門性を有したトレーナーが育ち、そしてそれらの目的に最短距離で到達できることを支える、プロダクトやプログラム、そしてシステムが、確実に進化していると考えられます。

その進化の軌跡は、際だったものではないので、一見するとあまり変化がないようですが、凝視してみると、やはりそれらは進化していると確信することが出来ました。

その様子を以下にダイジェストさせていただきます。

●HIITがトレンドの域を脱しトレーニングの主役となっている

HIIT(Hi Intensity Interval Training)、高強度インターバルトレーニングをベースとしたプログラム提供や、それを前提としたトレーニング機器の開発が今や、トレンドの域を脱し、定着化している。

立命館大学の田畑教授が提唱し、今や世界中のアスレティックトレーニング界の共通言語となった、“TABATA Protocol”をベースに、一般のフィットネスのプログラム提供にもその手法が応用され、HIITとして様々なサービス提供に姿を変えています。

例えば既に日本のクラブにも徐々に採用されてきている、ZONE Training(ゾントレーニング)は、このHIITトレーニングをフィットネスの市場に普及させた、象徴的なトレーニングシステムだと言えるでしょう。その周辺の機器や応用したプログラムもさらに進化しているようです。

類似のシステム商材が、そのデザインや簡便さ、そしてコストパフォーマンスの良さを提唱しながらあらたな参入を試みていたり(写真④)、先行の企業も、開発を進めることで、より簡便で、よりスタイリッシュにゾントレーニングを楽しめるよう工夫を凝らしています。(写真①、②、③)

①



②



③(ハートレートモニター脱着がよりシンプルに、スタイリッシュに進化)



(ハートレートモニター脱着が、よりシンプルにスタイリッシュに進化)



④ディスプレイデザインも多様に

●HIITを前提としたプログラムスタイルの多様化

前述でご紹介したZoneトレーニングのように、心拍数をモニタリングしながら各個人に設定された目標運動値を維持し続けるエクササイズをスタジオにおける画期的プログラムとして体系化し、ブランドとして確立した事例として、フロリダで生まれたOrange Theory Fitnessがあります。日本でもマスターフランチャイジーとして店舗展開をする企業が設立され、これからが楽しみです。既にご存じのとおり、このプログラムでも採用されている、有酸素系マシンとコンディショニング系のマシンを組み合わせたサーキットスタイルのトレーニングをより効果的にするマシンや道具が、ますます多様になっています。

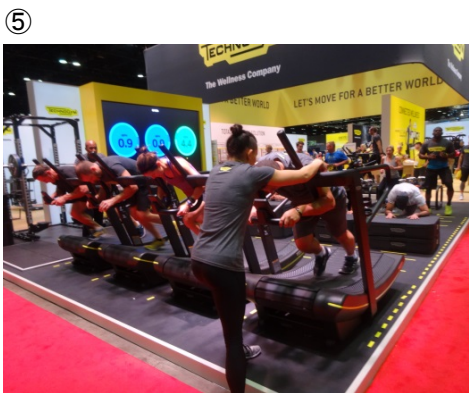
あくまでも表面上での視点ですが、特に目を見張るような斬新な提案(ソフト、ハード両面)を見出しにくかった今回のIHRSA展示会の中でも、提案力が際立っていたのは、テクノジム社が提案する自走式のランニングマシン(あえてトレッドミルとは差別化して、こう呼ばせていただきます)SKILLMILL(スキルミル)がその数少ない中の一つではないかと思います(写真⑤)。このタイプの自走式のランニングマシンコンセプトは、すでに何年も前からWOODWAYというメーカーが先行して開発し、販売しています。日本の市場では、メジャーではありませんが、北米では、メジャーなマシンであると理解しています。

この先行のWOODWAYと比較してSKILLMILLが新たに搭載した機能が、“マルチドライブテクノロジー”という負荷抵抗調整機能です。マシンの手元に装備されたレバーで簡単にランニングベルトにかかる抵抗をコントロールできます。

このランニングマシンは、もちろん単独でも十分に

バリエーション豊かなトレーニングを可能にしますが、写真⑥のように、コンディショニング系のマシンやステーションと組み合わせることで、新たなHIITトレーニングを提案していました。

テクノジム社が開発／提案するSKILLMILL



⑥



●サーキット・コンディショニング系のプログラムやツールが数多く提案されていました。

⑦



⑦&⑧&⑨⇒ケトルベルやロープ等、比較的簡易なツールでも、リードするトレーナーの指導スキルと、提供するプログラムへの確信と、そしてなによりもトレーナー自身が楽しんでいる姿を示すことで、また、参加したくなるようなプログラムは確実に提供できていることを、あらためて確認できました。

⑧



⑨



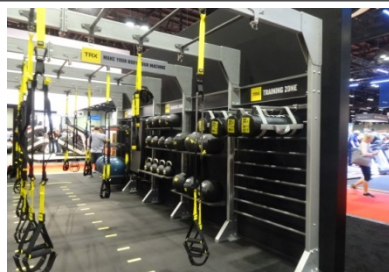


⑩⇒単に漕ぐだけではなく、自身の体重も抵抗として動員できると共に、動きの軌道が大きな楕円を描くよう設計されているマシン。より、ダイナミックにボートを漕ぐ感覚を体験できます。



⑪CROSS FITトレーニングの象徴的なトレーニングの一つにトラックのタイヤを前に押し進めるものがありますが、それをインドアでも実現できるように考案された道具。

どんなものでも、とにかく形にするアメリカの開発スピリットには脱帽です。



⑫QUEENAXに代用される多目的にカスタマイズが可能なサスペンション型トレーニングを可能にする室内用のエクササイズユニットも、あつという間に複数のメーカーから提案されていました。

●クラブビジネスの効率化を支えるソフトウェアやプログラムもさらに充実

業態の多様化が加速する日本ですが、アメリカにおいても同様で、様々な新しい業態が生まれています。そうした成功事例が、そのまま、あるいは日本の市場に合うようにローカライズされて持ち込まれていると言えるでしょう。

しかし、日本でもそうであるようにアメリカにおいてもまだまだ全体としては、総合型の大型のクラブはしっかり存在しています。

バジェットタイプのジムやスタジオに顧客が流れがちな中で、こうした総合型のクラブがしっかりと顧客を引き付け、継続を促進し、そして潜在顧客の逃さないための営業力を高めるためのソフトやシステムの提案も、活発に提案されていました。

例えば、InTouch Technology社が提案していたクラブマネージメントソフトウェアは有効だと感じました。

潜在顧客の多くは、WEBを通しての問い合わせや、直接見学に来館される顧客がメインとなりますが、この管理システムは、そうした潜在顧客のファーストアプローチから、最終的な入会の可否に関する結果に至るまでのプロセスを明確に可視化し、管理することを支えます。見学の予約、体験、体験の対応者のコメント、アフターフォローのメール配信、その感触、クロージングに向けての確度の評価、そして、最終的な結果。そうした一連のセールスの過程を各セールス担当者、セールスマネージャー、そして店舗支配人、それぞれのポジションとして果たすべき役割とその遂行履歴を管理するシステムです。

報酬に占めるインセンティブのウエイトが極めて重い欧米型のビジネススタイルだからこそ、こうしたシステムの進化が図られるのでしょう。

また、なかなか興味深かったのが、フィットネスクラブを起業し、ゼロから始めて成長させていくプロセスをシュミレーションできるプログラムが提案されていました。

起業のための準備から開店に至る過程において、様々な課題やトラブルが提案され、その解決のためにどのような対応や戦略が求められるか。そうしたシュミレーションを机上で疑似体験していくプログラムです。

これは、クラブにおけるスタッフ教育や経営感覚の涵養に役立つ提案であると同時に、もちろん、独立起業を目指す将来の経営者のセルフトレーニングにも役立つものです。

アメリカの労働環境は、労働者の50%近くが個人事業主であるといえます。そうした環境であるがゆえに、このようなプログラムの潜在市場としての可能性が見込まれるでしょう。



⑬テーブルの上に置いたボード上でゲーム感覚でビジネスのシュミレーションを行う。

●Groval Federation Meeting参加報告

毎年のIHRSAの開催に併せて、世界の主要なフィットネス先進国の業界関連団体が一堂に会すグローバルミーティングが開催されます。

FIAもアジアにおけるフィットネストップランナー国家として、このミーティングに参加しました。

主な参加国は、アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド、ポーランド、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、ベルギー、オランダ、イギリス、etc...で、アジアからの参加はFIAから松村、そしてクラブビジネスジャパンから岩井さん2名のみでした。

内容としては、まず、IHRSAがユネスコが主催する、U FITという活動のスポンサーの一団体と

して参加をすることになったことの報告がされました。

このU FITとは、ユネスコが提唱する、フィットネスを通したグローバルレベルでの健康促進のアプローチの中でも、特にハンディーキャップの人々が、もっとフィットネスに参加しやすくなるようにするキャンペーンです。具体的な活動の一つとしては、フィットネスクラブが安心してハンディーキャップのお客をお迎えできるようにするための、マニュアルを提供しています。ミーティングにおいて、U FITの内容説明と各国への同活動に対する参加の要請がされました。

そして、メインのトピックとしては、各国のフィットネス業界でのトピックや課題の共有でした。

その中でも、ニュージーランドの団体が発表したことを皮切りに、幾つかの国でも同様の課題解決を各団体が取り組んでいることに触れたのが、フィットスクラブの利用に課せられる税金の軽減に対する行政への取り組みでした。

中でも、ポーランドでの事例は特筆するに値するレポートでした。消費税率が世界的に見ても高く設定されているヨーロッパの中でも、ポーランドは23%と高い国の一つに挙げられますが、フィットネス関連施設の利用に対しては、8%という軽減税率が設定されることに、業界団体も一定の役割を果たしたといえます。

その理由はもちろんですが、エクササイズを国が奨励することが、結果的に国の医療財政を軽減させることに直結するという行政が認めたということに他ありません。

深刻な医療財政難に陥っている日本においてこそ、フィットネスのサービス提供がその解決に小さくないインパクトを与えることが可能であるということ、痛切に実感したと同時に今後のFIAの重要な課題であることを認識しました。

ていただきます。

また、4月にドイツのケルンで開催された、世界最大のフィットネス&ボディビルの展示会であるFIBOのレポートも併せてご紹介させていただきます。

ご期待ください。

Information

お知らせ

1. 平成28年度定時総会と関連イベントのご案内

■第29回定時総会

日時 平成28年6月16日(木) 午後2時より

場所 弘済会館(東京都千代田区麹町5-1)

正会員代表者の皆様宛て「定時総会招集ご案内」を郵送いたします。

■総会特別講演 15:30-17:00

「フィットネス産業はマーケティングの時代へ」

～伝える顧客に伝わる価値～

顧客のニーズが多変・多様化するなか、フィットネス産業に求められるサービスはもっと最適化されるべきであるにもかかわらず、なかなか応えることができていないのが現状ではないか。これからは、単にマネージメント作法を高めるだけでは、経営が難しい時代に入る。ここで、あらためて、“マーケティング手法”、特に“ブランディングとターゲティング”というアプローチを理解し、それを起点に、フィットネス産業の経営を発想していきたい。

伝える顧客(ターゲティング)に、伝わる価値(ブランディング)を！ これからのフィットネス産業にマーケティングが挑む。

講師: 西根 英一氏(にしね えいいち)氏

マツカンヘルスコミュニケーションズ 最高知識責任者

■会員交流パーティー 17:30-19:00

■参加費(会員): 講演4,000円 交流パーティー5,000円

両方申込7,000円

尚、日本からのレポートとしては、最近、総合型クラブにおいて、しばしば問題となる

TATTOへの対応基準について、そしてLGBTへの対応について実際に訴訟事例が発生している点についてレポートしました。

TATTOの課題については、2020年のオリンピック開催に向けて、確実に増えてくるインバウンドに対し、現状のままでは場合によっては間接的な損失が生じかねないという現実と、反社会勢力に対する対抗措置という日本ならではの歴史的文化的な問題という、双方の着地点を見出すことが簡単ではない課題を抱えているという点を報告しました。

LGBT問題に関しては、例えば米国においても、州によって対応基準が異なり、国家として、公衆の施設での具体的対応がまちまちで、これといった適切かつ有効な対応事例を紹介できない。やはり、どこの国でも、この課題への明確でスムーズな対応といった点では、まだまだ確実な対応はできていないようでした。



各国のフィットネス業界を代表する関係者が一堂に会す貴重な機会です。(後方左から4人目が筆者)

●次号FIAニューズトピックスのお知らせ！

次号のFIAニュースでは、アメリカのフィットネス事情の紹介として、特にニューヨークマンハッタンのトレンドをレポートさせ

2. FIA全国スポーツクラブ駅伝大会開催日決定！

今年のFIA全国スポーツクラブ駅伝大会の日程が決まりました。

参加者募集の要項は7月下旬にお届けします。

東京会場 : 10月22日(土) 江東区夢の島陸上競技場
(周回路1,300m)

大阪会場 : 11月26日(土) 大阪市長居第2陸上競技場
(周回路2,400m)

3. FIAマスタースイミングフェスティバル2016 開催日程

FIAマスタースイミングフェスティバル2016を開催します。

9月25日(日) 京都アクアリーナ

FIA加盟クラブ限定大会です。

募集開始: 6月17日(金)

(FIAホームページに要項を掲載します)

締切り日: 8月2日(火)18時

4. 経済産業省からの広報

①経済センサス・活動調査への協力依頼。

経済センサス
活動調査

○経済センサス・活動調査は、全国すべての事業所・企業を対象に、平成28年6月1日現在で実施します。
○この調査は、従業員数などのほか、売上高や費用などの経営項目を調査します。

総務省・経済産業省

企業活動状況の調査です。調査票が配布されますのでご協力をお願いします。対象＝全国すべての事業所 調査票配布＝5月 経済センサスの解説ページ <http://www.ecensus2016.stat.go.jp/>

②消費税軽減税率制度に係る関係通達等の公表について

来春に予定される消費税率変更では、主に食品を対象とした「軽減税率」も予定されています。消費税軽減税率制度の導入を盛り込んだ「所得税法等の一部を改正する法律案」の成立を受け、国税庁より法令解釈通達及びQ&Aが公表されました。

下記HPに軽減税率制度に関する記載がありますので、ご確認ください。

＜HP掲載場所＞

1 消費税の軽減税率制度に関する取扱通達の制定について(法令解釈通達)

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/zeiho->

[kaishaku/tsutatsu/kobetsu/kansetsu/160412/160412.pdf](http://www.nta.go.jp/shiraberu/zeiho-kaishaku/tsutatsu/kobetsu/kansetsu/160412/160412.pdf)

2 消費税の軽減税率制度に関するQ&A(制度概要編、個別事例編)

・制度概要編

<http://www.nta.go.jp/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/02.pdf>

・個別事例編

<http://www.nta.go.jp/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/03.pdf>

※国税庁HPのトップページトップピックスの「消費税の軽減税率制度に関する特設サイト」ボタンをクリックしていただければ、掲載ページへ誘導されます。

※中小企業事業者が軽減税率対応レジ導入・システム改修を行う際の補助金制度があります。

<http://www.kzt-hojo.jp/>

※事務局注:クラブでは「自販機による飲料・食品販売」「栄養補助食品の販売」などで軽減税率適用が発生します。レジの機能や領収証に税率別の扱いが求められるなどレジ機能の更新も必要です。
FIAホームページ「行政や制度の対応」に、上記資料を掲載しています。

Member's Board

会員掲示板

株式会社クラブビジネスジャパンは、フィットネス業界全体の成長、発展を実現するためには優れた人材が当業界に従事することが必要不可欠であるとの考えから、2016年4月3日(日)に、東京都新宿区にある「ベルサール飯田橋ファースト」の地下1階にある約300坪の大ホールにて、「フィットネス・スポーツ業界 合同リクルートフェア」を開催した。

同フェアには株式会社ルネサンス、株式会社カーブスジャパン、株式会社東急スポーツオアシス、グンゼスポーツ株式会社、グローバルシステムズ株式会社、セノー株式会社、株式会社J-Workoutの10社が参加し、後援は一般社団法人日本フィットネス産業協会(FIA)、株式会社マーススポーツエージェンツ、協賛は大塚製薬株式会社、株式会社丸善であった。

事前申し込み者数は約490名、来場者数は約380名(午前270名、午後110名)だった。うち、大学生は約150名、専門学校生は約230名という結果になり、成功裡に終了した。

同フェアでは、ブースでの企業説明会のほか、大ホールにて講演会も開催。ドームアスリートハウス ゼネラルマネージャー 友岡和彦氏による特別講演や、株式会社クラブビジネスジャパン代表取締役古屋武範氏による講演が行われ、「多くの学生が熱心に聞き入っていた。また、企業説明が終了した後にも、積極的に質問をする学生たちも多く見られた。」

【フィットネス・スポーツ業界 合同リクルートフェア】当日の様



Associate members

賛助会員紹介

株式会社ガウラ



企業PR

株式会社ガウラは、20年以上にわたり健康器具の開発・販売を中心に事業を行ってまいりましたが、2011年ごろに水素水サーバーと出会い、スポーツジムを中心に水素水サーバーのレンタルを行ってきました。その後、会員さまからの家庭でも水素水を飲みたいというニーズに応えるかたちで家庭用水素水サーバーや生成器のレンタル・販売と水素入浴剤の販売もスタートしました。スポーツジムでの導入実績No.1の経験を活かして、より多くの方に水素のよさを広めていきたいと考えています。

主要商品・サービス

業務用水素水サーバーのレンタルサービスでは、国内スポーツジム業界で導入実績No.1となっておりますが、これは、勉強会や販促イベントなど、当社独自の蓄積されたノウハウをスポーツジムさまに実践していただいたことで拡げてまいりました。

■水素水サーバー「HII GAURA」は、水道直結式の浄水機能付き水素水サーバーで、給水時に電気分解するワンパス式で高濃度の水素水を継続的に吐水することができます。

また、電気分解を行う不溶性金属電極は、日本でトップクラスのシェアの部品を使い、さらに、自動クリーニングや漏水防止機能などがついて使いやすくなっています。サイズも幅25cmとスリムで、カラーはホワイトとブラウンの2色をご用意しています。

■水素水生成器「GAURAmimi」は、浄水機能付きのコンパクトな卓上サイズの生成器で、おしゃれな8色のカラーを揃え、様々なインテリアにマッチするデザインになっています。タンクに水道水を入れていただくとすぐに水素水を吐水できますので、ストレスなく水素水を飲むことができます。レンタル月額4,980円と導入しやすい価格設定も魅力となっています。

■水素入浴剤「H2Bubble」は、法政大学の大河内教授に研究協力をいただいた水素入浴剤で、業界トップクラスの水素濃度1.2ppm以上という高濃度の水素入浴剤となっています。価格も1包250円と業界最安値で提供しています。

会社概要

会社名/株式会社ガウラ
 代表者/代表取締役 有井雅己
 所在地/東京都渋谷区東2-26-16 渋谷HANAビル3F・4F・5F
 担当部署/ウェルネス事業部
 担当者/植木幸一郎
 連絡先/TEL: 03-6805-0207
 e-mail/ info@gaura.co.jp
 URL/ http://www.gaura.jp

Associate members

賛助会員紹介

株式会社アイサイト

i★Member
 会員管理システム

i★Trainer
 運動処方システム



i★Scanner
 体成分分析システム

i★Manager
 スタッフ管理システム

企業PR

スポーツ施設、医療・介護施設、製造業、官公庁など、さまざまな業種、業態のお客さま向けにシステムの開発、販売、サポートを行っています。クラウドコンピューティング、仮想化ソリューションの提供など、「和」を大切にしながら時代に合ったソフトウェア、サービスを柔軟かつスピーディーにご提案します。

主要商品・サービス

『i★Series』は会員定着、退会防止にお役立ていただける施設運営総合ソリューションです。

【i★Member: 会員管理システム】

施設運営に最適な機能が豊富に揃っています。特徴機能として、スタッフ間で円滑に情報共有を行い、施設利用者さまと効果的なコミュニケーションを行うことで、満足度向上＝退会防止にお役立ていただけます。

【i★Trainer: 運動処方システム】

会員さま、個人個人の目的やレベルに合わせたトレーニングメニューを自動的に作成します。オリジナル体力測定機能を利用し、運動の動機付けに効果を発揮します。

【i★Scanner: 体成分分析システム】

高精度・高再現性を誇る体成分分析装置「InBody」を用いて、会員さまやイベント参加者へ運動効果をわかりやすくお伝えします。

【i★Manager: スタッフ管理システム】

今まで属人的な作業を行っていたフリーインストラクター管理をシステム導入により標準化し、管理業務量を削減します。

会社概要

会社名/株式会社アイサイト
 代表者/代表取締役社長 仙波克彦
 所在地/愛媛県松山市松末1丁目7-44
 担当部署/営業統括本部
 担当者/菅 彰博
 連絡先/TEL: 089-970-3838
 e-mail/ info@i-site.co.jp
 URL/ http://www.i-site.co.jp

New Clubs

出店情報

5月のオープンクラブ

Curves桜新町

所在地: 東京都世田谷区用賀3-8-18

グリーンハウスNo.101-2F

TEL: 03-6805-6057

Curvesプラッセだいわ大小路

所在地: 鹿児島県薩摩川内市若葉町41

TEL: 0996-29-3422

Curves小竹向原

所在地: 東京都練馬区小竹町2-71-3

アンソレイエ小竹2F

TEL: 03-3974-5339

Curvesピアゴ長久手南

所在地: 愛知県長久手市市が洞二丁目1313番地

TEL: 0561-41-9995

CurvesMEGAドン. キホーテ柏崎

所在地: 新潟県柏崎市東長浜町4番15号

MEGAドン. キホーテ柏崎1階

TEL: 0257-41-6645

●FIA会員

Curves緑橋

所在地: 大阪府大阪市東成区東今里1-3-2

天一興産ビル2階

TEL: 06-6974-7213

Curvesハローズ東福山

所在地: 広島県福山市引野町3-35-11

TEL: 084-941-2294

●FIA会員

FASYGYM梅屋敷

所在地: 東京都大田区大森西6-13-13 1・2階

TEL: 03-5767-7277

FASYGYM春日後楽園

所在地: 東京都文京区小石川1-9-1

小石川富士ビル2階

TEL: 03-3868-5131

FASYGYM蕨

所在地: 埼玉県蕨市塚越1-4-20

TEL: 0120-208-025

●FIA会員

Issue

記事

タツミメディカルサービス、訪問看護拠点を倍增

訪問看護事業などを手がけるタツミメディカルサービス(横浜市、瀬崎哲也社長)は運営する訪問看護事業所を2017年5月までに現在の2倍に増やす。神奈川県内を中心に訪問看護ステーションを新たに10カ所開設する計画だ。国は入院患者を減らし地域で医療、介護を切れ目なく提供する「地域包括ケア」を推進している。高齢化が進むなかで需要が大きいと判断した。

(2016.4.5 日経産業)

小型フィットネス気軽に、東武スポーツ、鎌ヶ谷に6月

東武鉄道グループの東武スポーツは6月1日、千葉県鎌ヶ谷市に小型のフィットネスクラブ「TOBUフィットネスパーク ネオス鎌ヶ谷」を開業する。複数の会員が同時に使用できるハンゴの形をした設備「クイナックス」を導入し交流も狙う。

東武野田線の鎌ヶ谷駅近くの住宅地に立地。面積は同社が千葉県内で展開するフィットネスクラブの2割程度の383平方メートルだ。設備はランニングマシンなど通常施設より絞った。

(2016.4.6 日本経済)

アップルの「ヘルスケア」とタニタの体組成計が連携

タニタは、スマートフォン向け健康管理アプリ「ヘルスプラネット」について、2016年4月18日からApp Storeで新バージョンの配信を始めた。米Apple(アップル)の健康管理用アプリ「ヘルスケア」とのデータ連携機能を実装した。タニタの通信機能付き体組成計で測ったデータを、Appleのヘルスケア上で一元管理できる。例えば、測定した体重や体脂肪率をヘルスケア上で時系列的に記録したり、グラフ表示したりできる。

ヘルスケアはiOS8.0以上のiPhoneに標準搭載され、健康やフィットネスの情報を1ヶ所で集中管理できるアプリ。ユーザーはヘルスケアを通じ、自身の情報にアクセス可能な連携アプリを選ぶことが可能だ。

(2016.4.20 日本経済)

海外でテニススクール、ノアインドアステージ

テニススクール運営大手のノアインドアステージは海外展開に乗り出す。まずタイ・バンコクにスクールを開設し、日本人駐在員に加えて現地の富裕層や中間層の顧客獲得を目指す。所得水準の向上でレジャーや健康への関心が高まるとみて、新たな市場開拓に乗り出す。

今年10月にバンコクの高級住宅地スクンビット地区で開業する。敷地面積は7,300平方メートルで、空調設備がある室内のフルコート2面、ハーフコート、フィットネス施設を設ける。このほか、屋外のコートもある。投資額は約2億円。

(2016.4.23 日本経済)